

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名()

知識工学株式会社

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）（R5.11.30変更）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			採用、配置、昇進、評価などの人事において、差別的な取り扱いを行わないよう公平な運用を行っている。また、社内外に相談窓口を設け、適切に対応できる体制を整えている。																	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			セクハラ・パワハラ等の防止規程を制定し、毎年オンライン研修を実施している。社内外に相談窓口を設置し、ハラスメントのない職場環境づくりを進めていく。																	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			勤怠管理システムにより労働時間を毎日記録し、管理職が隨時確認を行うほか、衛生委員会においても情報を共有し、長時間労働が見込まれる社員の業務量の調整に努めている。																	
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			現時点で外国人労働者は在籍していないが、採用や業務において国籍を理由とした不利益な取扱いを行わず、公平に対応することとしている。																	
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			衛生委員会において職場環境に関する情報を共有し、従業員からの提案も取り入れながら改善に努めているほか、健康診断の実施や産業医による健康相談を行っている。																	
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			衛生委員会においてメンタルヘルスに関する情報を共有している。また、ストレスチェックを実施して状況の把握に努め、必要に応じて産業医とも連携している。																	
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			女性管理監督者比率が33%となっているほか、高齢者や障がい者雇用にも取り組み、誰もが活躍できる職場づくりに努めている。																	
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			年間計画に基づき、社内外の研修やe-learningを通じて必要な技術や知識を習得できる機会を提供しているほか、資格取得に向けた支援制度を設け、スキルアップを促進している。																	
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			職務内容や能力により適切に評価し、賃金に反映するなど公平な待遇を行っている。																	
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			健康診断受診率100%を維持し、健康優良企業「銀の認定」を取得しているほか、スポーツイベントなどを通じて従業員の健康づくりに取り組んでいる。																	
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			廃棄物の分別を行ったうえで、法令に基づく業者へ処分を委託するなど適正な手順により処理している。																	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			電気使用量を毎月確認し、その状況を踏まえて、省エネに努めている。																	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			電気使用量を毎月確認するとともに、適切な室温設定や昼休み時間の消灯などにより、温室効果ガスの排出抑制に努めている。																	
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)	【非該当】		当社では有害化学物質を使用していないが、該当するリスクがないか法令や情報を適宜確認している。																	

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			廃棄物の適正処理や資源の持続的な利用に取り組むことで、事業活動による環境負荷の低減を図り、生物多様性への影響に配慮している。							6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			ペーパーレス化を推進し紙使用量の削減を図るほか、使用済みのパソコンや周辺機器についてはリサイクル処理を業者に委託している。												13	14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)										6.4 6.6										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)									3.9		6	7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)																12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)												7.2				13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)																12.2	13	14	15	
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			服務規程に汚職・贈収賄の禁止を明記し、その内容を毎年実施するコンプライアンス研修で扱い、社員が適切な行動を取れるよう取り組んでいる。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			不正競争防止法で定める公正な競争について、毎年実施するコンプライアンス研修を通じて社員の理解を深め、公正で透明性のある取引が行われるよう取り組んでいる。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			知的財産の保護に関する内容を毎年のコンプライアンス研修で扱い、社員が著作権や商標などを適切に扱えるよう理解を深める取り組みを行っている。							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			個人情報保護方針を策定・公表し、管理体制を整備している。また、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の維持運用と定期的な教育により、個人情報が適切に取り扱われるよう努めている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			初回契約時には取引先調査や契約時の打合せを通じて取引先の状況や方針を確認し、認識を共有している。また、毎年の対話を継続することで、取引先との認識を適切に維持している。					5		8	10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【予定】		パートナーシップ構築宣言を作成、公表する予定			3					8	9	10							17

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 1.2 HJM	2 2.2 HJM	3 3.2 HJM	4 4.2 HJM	5 5.2 HJM	6 6.2 HJM	7 7.2 HJM	8 8.2 HJM	9 9.2 HJM	10 10.2 HJM	11 11.2 HJM	12 12.2 HJM					
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)に基づき、想定されるリスクを洗い出し、適切な対策を講じることで、製品・サービスの安全性確保に取り組んでいる。			3.9							12.4							
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			顧客と連携して品質を保証する仕組みを整備し、ケーラムに迅速に対応するとともに、社内で情報を共有して品質向上に取り組んでいる。また、品質管理研修を実施し、社員の意識向上を図っている。								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			紙使用量削減の取り組みとして、業務の電子化を進めるデジタル化システムを提案し、環境負荷の低減に努めている。					6					12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			ITコーディネータを育成し、地域企業の業務改善やデジタル化の導入支援を行うことで、人手不足や生産性向上といった地域の社会課題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地域に根ざした企業として、地域での雇用創出に取り組むとともに、信州ITバレー構想やスマートシティ長野に参画し、地域のデジタル化推進に協力している。				4					9	11	12	14	15	17			
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			学生に職場体験の場や夏休みインターンシップを提供することで、地域の次世代人材育成に貢献している。				4						11		14	15	17			
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			物品や備品の購入にあたっては、可能な限り地元企業から調達するよう努めている。								8	9	11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			経営理念および経営方針を明文化し、全体会議等を通じて社員に共有している。また、年度ごとの経営計画や予算・実績を幹部会議で共有し、隨時見直しを行っている。								8	9						17		
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			服務規程に法令遵守を明記し、毎年実施するコンプライアンス研修で社内浸透を図っている。															16		
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			取締役会が全体の管理を行い、総務部が担当部署として制度を運用し、監査役がチェックを行う体制を整えている。また、社内外に相談窓口を設置した内部通報制度を整備し、適切なガバナンスを確保している。															16		
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			ステークホルダーと随時情報交換を行い、その内容を取締役会で共有し、事業運営に適切に反映している。														16	17		
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)に基づきリスク分析を実施し、適切なリスク管理に取り組んでいる															16		
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			経営理念・ミッション・ビジョンを社内で共有し、定期的なコンプライアンス研修を通じて、社員が社会的責任を理解し実践できるよう努めている。														16			
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			地震、火災、水害、サーバダウン、サイバー攻撃発生時のBCPを策定するとともに、従業員の安否確認システムを導入するなど、安全確保と業務継続のための体制を整備している。								9	11	13	13.1			16			
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)											8	9						17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定